

# 『南総里見八犬伝』における ジェンダーと獣性

塩川夏子

(文19-292 国語国文学専修 国文学コース 4年)

## 【目次】

1. はじめに
2. 善女とジェンダー
3. 悪女とジェンダー
4. ジェンダーと獣性
5. おわりに

# 1. はじめに

「ジェンダー」とは、生物学的性を表す「セックス」と異なり、社会的に定義された役割、行動を指す言葉である。

先行研究はジェンダーと比較してセックスに重きを置いた内容であり、セックスと獣性の繋がりについて書かれている。では、ジェンダーとの繋がりはどうなのだろうか。

本論では女性性の登場人物に注目し、そのジェンダーとセックス、獣性の関係を考察した。

## 2. 善女とジェンダー

本論では作中で描かれる善女の代表として伏姫、浜路、雛衣を扱った。

それぞれの情報は以下の通りである。

伏姫・・・里見義実の娘であり、八房の妻となる。犬の子を妊娠したという疑いを晴らすため切腹し、自らの貞操を守る。

浜路・・・八犬士である犬塚信乃の許嫁として育つ。信乃出立の際、貞操を守るため死を決意する。

雛衣・・・八犬士の一人である犬村大角の妻。不義密通を疑われたため、切腹して濡れ衣を晴らす。

それぞれに共通する点は、

◎己の貞操を守るために命を懸けている。

◎男性的気質を兼ね備えている。

◎獣性と関わる記述が少ない。



善女の男性的気質は、彼女たちが貞淑であることを守るために出現する。

セックス＝女性  
ジェンダー＝女性

### 3. 悪女とジェンダー

本論では作中で描かれる悪女の代表として玉梓、船虫、妙椿を扱った。

それぞれの情報は以下の通りである。

玉梓・・・王を誑かし悪政を敷くが、最期は里見義実によって処断される。後に怨霊となり、八房や妙椿に憑く。

船虫・・・化け猫や山賊の妻として夫を替えながら、窃盗、殺人を行う。最期は牛の角で貫かれ死亡。

妙椿・・・玉梓の怨念を継いだ存在。墓田素藤をそそのかし、数度里見家を危機に陥れる。正体は尼に化けた牝狸。最期は仁の玉の光に撃たれて死ぬ。

それぞれに共通する点は、

◎淫婦である。

◎執着心が強く、貪欲である。

◎獣性との関わりが記述されている。



悪女は権力に対して貪欲であり、目的を果たすためには淫婦であることをも厭わない。

セックス＝女性  
ジェンダー＝男性

# 4. ジェンダーと獣性

獣性との関わりは 悪女 > 善女

獣性とはつまり…

男性性のジェンダー領域に踏み込んだ女性と深く関わっているのである。

女性によるジェンダーの越権はタブー

## 5. おわりに

善女の男性的気質は、彼女たちが貞淑であることを守るために出現する。



男性が女性に求める女性的役割(ジェンダーロール)を守るための過程である。

反対に、女性的役割を逸脱した人物には獣性が付与される。

獣性はセックスだけではなく、ジェンダーとも深く関わっている。